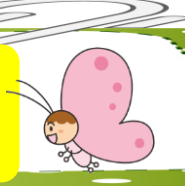


看護局いきいき通信



編集委員：植田 武山 榊井 山田
発行責任者：田中早苗

令和3年8月発行(年3回発行：夏号)

新緑のかおりの季節となりました。皆さまお変わりなくお過ごしでしょうか。引き続き看護局の動向や、院内・外でのイベント情報などを伝えていきますので、取り上げてほしい話題などがあれば各部署の図書委員まで気軽に声をかけて下さい！！

私のワークライフバランス



新型コロナウイルスの影響で、ダイビングの聖地とされる沖縄や遠方へ行くことは出来ませんが、近畿圏内の海でたくさんの魅力を感じながらダイビングをしています。カクレクマノミ等の小さな生き物を間近で見たり、太陽の光が注ぐ洞窟を探検したり、魚の群れに突入したり…。天候や海況が良ければイル

カが会いに来てくれたりと、何が起こるか分からない世界で、人懐っこい生き物たちに囲まれながら泳いだり、カメラで水中を撮影して楽しんでいます。ダイバーの潜り方によって珊瑚を傷つけたり、生き物に脅威を与えてしまう可能性があるため、環境を大切にしながらこれからもダイビングを続けて行きたいです♪

3A 病棟

2次救急、1000件達成について

葛城地区2次救急輪番の体制がとられて3年ほど経過します。2科協力や断らないを合い言葉に救急応需率向上にむけ医師間調整など日々努力しています。救急外来運営のため夜勤に入って頂いている師長、各部署のスタッフ、救急対応が重なった時は病棟看護師・MEをはじめコメディカルスタッフの協力に感謝しています。現場はまさしく戦場です。コロナ対応で診察前検査も増え神経を使いますが、救急外来看護師としてやりがいを感じています。これからも状況に応じた対応を行い救急患者の看護ケアを実践していきます。



外来診療科

病棟-外来、一元化について



5A 病棟と整形外科では、2018 年から一元化に取り組んでいます。現在 5A スタッフが外来リリーフの時には、創部処置や関節注射の介助や救急患者の対応に入り、外来スタッフが病棟リリーフの時には、創部処置の介助・術後の管理等を行っています。入院前から関わっている患者さんの術前後に関わることで病棟・外来で継続した看護が行えることを目指しています。今後も患者さんが安心して入院生活や外来治療が受けられるよう、病棟・外来スタッフがより一層途切れない看護が提供出来るように一元化を進めて行きたいと思います。

外来診療科

看護部会 新メンバー紹介



1年間、よろしくお願いします(´▽`)



長かった梅雨も明け、暑い暑い夏がやってきました。昨年度から新型コロナ感染症の蔓延で私たちの生活様式も大きく変化しました。その中で当院は奈良県中和医療圏の中核病院として、帰国者接触者外来の開設や奈良県重点医療機関として新型コロナ患者の受入れを早々に開始しました。病棟編成で慣れない部署での勤務や不安な中で新型コロナ患者さんの看護ケアや対応、暑さ寒さの中での帰国者接触者外来業務など、看護職員の皆様には多大な負担をおかけしました。皆様の完璧な感染防止対策のおかげで誰一人、感染することもなく大変な時期を乗り切っていただけたと思っています。3月からは、医療者優先でワクチンも早々接種でき、少しは感染に対する不安や心配も解消されました。しかし、大勢集まる場所での飲食はまだまだ実現できない状況です。

令和3年度は28名の新規採用者(既卒者3名含む)をお迎えしました。昨年度は新型コロナ感染症の蔓延で緊急事態宣言が発出され臨地実習が中止や短縮になり、満足な臨地実習を体験できていない新人看護職員の方が多く入職されました。看護局は新人教育委員会と協議し、普段の年よりも早くから新人看護職員集合研修の内容を協議し計画を立案しました。昨年度までの研修から変更や工夫したこととしては、演習時間を1.5倍の時間を取ったり、夜勤体験やコミュニケーション技術演習なども組み込み、できるだけリアリティシヨックを軽減できるよう工夫しました。

3週間に及ぶ新人看護職員集合研修も無事に終了し、見習い夜勤を経て、少しずつ独り立ち夜勤が出来るようになってきたことをうれしく思っています。このように日々成長ができていくのは、各部署のプリセプターの方々をはじめとした、スタッフみなさんの温かいご指導や支えの賜と感謝しています。まだまだ、新型コロナの勢いは衰えず収束は見えませんが、私たちの目指す看護には変わりなく、快適な療養環境の提供と患者さん一人ひとりを尊重した看護を提供していただきたいと思ひます。

看護局長 認定看護管理者 田中早苗

感染管理認定看護師 Sさんの活動



2013年、感染管理認定看護師となり、2018年より感染対策室で感染管理専従看護師として活動しています。役割は感染症の患者さんだけでなく、患者さんのご家族や職員など病院すべての人や地域の皆さんを感染から守ることでです。

活動内容は感染対策チーム(ICT: Infection Control Team)として多職種(医師・看護師・薬剤師・検査技師・事務)で連携を行いながら、院内の感染対策の啓蒙・指導・相談、抗菌薬の適正使用の推進などをラウンド等で行っています。また職員の職業感染対策としてワクチンプログラムの推進も行っています。また昨年からコロナ禍による感染対策として、マニュアルの作成・PPEの着脱指導・社会福祉施設への訪問指導を行っています。これからも病院内で感染症が拡がらないよう、また患者さんやご家族だけでなく職員も安心して働ける環境を提供出来るように活動していきたいです。

最近守れていません!!
注意しましょう。

- ・食事、休憩は可能な限り場所・時間をわけて取る
- ・飲食の徹底(マスクを外している間は話さない)
- ・大袋(みんなどつまみ菓子・惣菜)は避け、個包装のものとする